



洞爺を訪れる人たちの受け皿に
洞爺湖の魅力を発信したい

profile

昭和56年12月14日生まれ。趣味は旅行や温泉めぐり。休みの日は、夏にはカヌー、冬はスノーボードなど季節ごとの自然を楽しんでいる。洞爺第3在住。36歳。

Spotlight

スポットライト



チャシバク INN をオープン

田中陽介さん

「毎日見ているのに窓から見える洞爺湖の美しい景色に感動してしまいます。訪れる人には湖畔の近くに泊まって、1日の時間の流れを肌で感じてほしいです」

洞爺湖の魅力を語るのは、6月26日に洞爺地区にある自宅を改装し、簡易宿所として、湖畔沿いにある個室3室の小さな宿「チャシバク INN」をオープンした田中陽介さん。1階がドーナツ店で、2階が宿になっています。

夫婦ともに旅行好きで、いろいろな宿に泊まっていることから「自分たちが泊まりたい宿」をコンセプトとしています。

京都府出身で、高校を卒業後、ニュージーランドの大学へ進学。その後、留寿都村にあるリゾート施設のホテルに就職し、北海道で暮らしを始めた。2011年の東日本大震災が人生を見つめ直す転機になりました。

「大きな自然災害がいつ起こるか分からない。いつ、何が起ころうとも良いように、好きな場所で、後悔のない生活をした」と暮らし方や働き方を考えたと言います。

自分が好きな場所で暮らしたいという強い思いで、キャンプでよく訪れていた洞爺湖町へ2013年に移住。「素晴らしい自然やのどかな雰囲気、住みやすさなどが決め手となりました」

偶然にも移住した家が元民宿施設であったことや、自身がホテル業に長年勤務していた経験もあり、宿泊施設を営む決意を持ち、会社を辞めました。

オープン準備として、自らの手で約1年かけて、宿泊部屋や階段など内装の改装を行いました。

「今後は客室をさらに増やす予定です。チャシバク INN の良さを発信するだけでなく、洞爺地区をはじめとした洞爺湖町の見所を発信していきたいです」と意気込みを語ります。

東奔西走

スポットライトで取材した田中さん。取材をして、生き方がとても素敵で尊敬できる人だと感じました。自分の人生について考えるいいきっかけとなりました。(C.K)

今月号の表紙を飾ったのは、大玉水中花火5連発。5色の花火がとても綺麗で大迫力でした。胆振東部地震の影響で観光にも影響が出ています。洞爺湖町はもちろん、北海道全体が早く元気になってくれることを願っています。(H.S)

今月のワンショット



元気あふれる
本町・入江保育所合同運動会



2018年は北海道150年
Hokkaido's 150th Anniversary

